

トランプ派のヒロイン



信一 「保守のヒーローが何を話すのか楽しみだよ」。米東部メリーランド州で3月1〜4日に開かれた保守政治行動会議(CPAC

「シーパック」の年次総会で、中西部インディアナ州から初めて参加したライアン・ホルトさん(37)が声を弾ませた。全米各地の保守系団体が集まる会議の入場料は295^{ドル}(約4万円)と安くはないが、普段はテレビやインターネットで見る政治家や評論家らと直接話そうと、メイン会場付近のイベントブースで待ちわびていた。

ホルトさんは、2021年1月の連邦議会襲撃事件を「20年大統領選の『不正』に対する正当な抗議」と考えるトランプ前大統領の支持者だ。地元で州知事や連邦下院議員を務めたペンス前副大統領を支持していたが、20年大統領選での落選を覆そうとするトランプ氏らにペンス氏が協力しなかったため、「彼は道を誤った」と見切りをつけた。

CPACの目当ては最終日に演説するトランプ氏だったが、22年の西部アリゾナ州知事選に出た元

テレビキャスター、カリ・レーク氏の話も楽しみにしていた。レーク氏はトランプ氏の支援を受けて共和党予備選を勝ち抜き、トランプ派を象徴する存在となった。本選での落選後も「大規模な不正」を訴えて負けを認めない姿までトランプ氏と重なり、ホルトさんは24年大統領選では「トランプ大統領、レーク副大統領」の誕生を期待している。

会場でのレーク氏の人気は高く、共和党副大統領候補の模擬投票では得票率20%で、南部フロリダ州のデサンティス知事(14%)やヘイリー元国連大使(10%)ら大統領候補にも名前が挙がる政治家を上回ってトップだった。大統領候補の模擬投票ではトランプ氏が得票率62%で他候補を圧倒。レーク氏を支持した人の多くは「大統領候補はトランプ氏」という前提だったとみられる。

『「全米で最も危険な政治家」という見出しの記事があり、トランプ氏だと思って読んだら、私のことだった」。共和党のレーガン元大統領の名を冠した恒例の夕食会で、ジョーク交じりに笑いをとったレーク氏。民主党やリベラルメディアからは、選挙結果を受け入れない「選挙否定派」と非難されているが、この夜は「トランプ派のヒロイン」を演じていた。